



特集

革の日常使いは小物から始まる

革小物ご愛顧譚

革製品をもっと身近に感じることができる形態——それは革小物ではないだろうか？
財布や名刺入れを新調したときの何ともいえない爽やかな、また改まるような気持ちを誰もが経験したことがあるだろう。
また革小物は日常使用の頻度が高いため自然と手で触れることが多くなる。これは革製品の魅力である、
エイジングをとりわけ意識せず実行していることになるのだ。普段使いで革と触れあい、革を育てる——
革小物を選ぶ楽しさ、真剣さは革の魅力のとびらを開くことでもある。

文／飯野高広、鈴木理也、山田純貴、西牧正晴、本誌編集部
写真／西牧正晴、鈴木理也、鶴田智明 (WPP)、青木健格 (WPP)

どうぞ
よろしゅう



写真/シャッターストック



STUDIO D'ARTISAN

スタジオ・ダルチザン

〒06-6536-6328 <http://www.dartisan.co.jp/>

左 / 阿波正藍デニムジャケット [D4563] ¥73,480

右 / 本藍デニムウエスタンシャツ [D5701] ¥26,180

手間のかかる丁寧なつくりと、美しいシルエットで知られるスタジオ・ダルチザンから藍染めの2アイテムをご紹介します。左 / 糸染めから機織りまで、日本のスキルに優れた職人が丁寧に仕上げた、伝統技法「阿波正藍染法」で丹念に染められたデニムを使った「阿波正藍デニムジャケット」。生産数に限りのある超希少なデニムジャケットとなり、「青（藍）」の美しさは唯一無二。特有のムラ感はナチュラルな風合いで、色落ちも楽しめそう。右 / 12.8ozの天然藍デニムを使用したウエスタンシャツは天然藍ならではの奥深い温もり感が特長。天然藍でありながら、中白のロープ染色で染め上げているので、クラシックな雰囲気でありながらコントラストのはっきりとした色落ちが楽しめる。

生地は厚みは15oz。特長なムラ感がいい味。シルエット&基本ディテールは根強い人気をキープするセカンドタイプとなっている。



自然の染料ならではのムラ感が魅力。ショルダーヨークやスナップボタン、フラップポケットなどウエスタンシャツの基本を踏襲している。

天然の藍が連綿と紡ぎ出す
美しい青と経年変化!



当時のディテールを踏襲しつつ
オリジナル要素をプラス

Deluxeware

デラックスウエア

〒050-3734-8736

<https://www.deluxeware.net/>

左 / 7640 [40s DENIM SHIRT] ¥21,780

右 / DX4017 [SECOND MODEL JACKET] ¥34,980

左 / 岡山県井原にて旧式シャトル機を使用し、「ザラ織り」という手法にて織り上げた10.5ozのオリジナルデニム素材をベースにタイト&ショートシルエットを実現した1940年代に則ったスタイルが魅力。ナチュラルムラ形状の織糸をオリジナル色のロープインディゴ染色しているため、絶妙な色落ちを味わえる。右 / 岡山県井原市の旧式シャトル織機で製造した上質13.6ozデニムをベースに「オープンで焼き上げる（ヒート処理）」という変わった手法で仕上げた「再現デニム」が魅力のジャケット。基本の「シルエット&ディテールはマニアの多い、通称「セカンド」を踏襲する。ただ、ステッチに関しては縫製糸21種を使用しミシンの運針（ピッチ）を適材適所に適応させたオリジナルのパーフェクトステッチを採用し、アップデートを加えている。

Gジャン好きの
の季節到来!

今季狙い目 デニム上モノ 情報

やっと涼しくなってきたと思ったらもう秋を通り過ぎて寒いくらいの季節がやってきた。となると、デニム好きにとってはGジャンの季節到来と浮足立つ。そこでここでは今季ぜひチェックしてみてください、デニムジャケットをラインアップ。

いずれもそれぞれ細部にこだわった、自信あり!のセレクションだ。

文 / 藤原雅士・写真 / 鶴田智明 (WPP) <P71下、P76>、 藪崎 大 (WPP) <P71上、P79上>



STRANGE FREAK DESIGNS

アディナ バングル ¥37,400

緻密な立体構造の連なりが特徴的なこのバングルは、背骨をモチーフにした造形。モチーフ自体の不変性が高く、流行に左右されず楽しめるのが魅力だ。バングルの厚みは約9mmと細身のため、重ね着けにも最適。シンプルなデザインは、コーディネートやシチュエーションに左右されず楽しめる。素材はシルバー925製。

STRANGE FREAK DESIGNS

パロワーズ ペンダント ¥28,600

同ブランドの展開する干支シリーズ第8番目の作品で、“羊”の頭骨をモチーフに造形されたペンダント。オーソドックスな羊のイメージを具現化し、キャラクター化。パチカンは使わず、角の空間にチェーンを通す設計となっている。角を真鍮製にすることで、シルバー925との色味の違いを楽しむことができる。チェーンは別売り。

psychedelic eye bangle
¥41,800

煙の中に紛れる全知全能の目、ブッダ・アイをモチーフに製作されたバングル。《アヴァターラ》が、これまでも製作してきたブッダ・アイを今までとは違った捉え方で表現した意欲作だ。漂う雲や、その揺らぎを表現した不規則で独創的な造形ながらも、装着時にはしっかりと手首になじんくれる。素材はシルバー925製。

吸盤リングM ¥19,800

タコの吸盤をモチーフに造形されたリング。ブランドらしいストレートで力強い表現が楽しめる作品だ。身近なモチーフだからこそデフォルメの微妙なニュアンスが重要だが、本作は、ひとつひとつの吸盤の造形や色合いに個性が演出されており、ハンドメイド特有の温かみや風合いが表現されている。素材はシルバー925製。



クトゥルー ¥66,000

奇怪小説・幻想小説の先駆者であり、小説家のH.P.Lovecraft (ラヴクラフト) 原作の“クトゥルフの呼び声”に登場する、混沌とした世界の神を《アヴァターラ》のフィルターを通して表現したリング。カニやエビの特徴を持ち合わせた甲殻類の頭、すべてのものを捉える複数の目など、不気味なクリーチャーを具現化。素材はシルバー925製。



avatara

アヴァターラ

〒シルバーギークス ☎03-6754-7589

<https://avatara.thebase.in/>

2012年にデザイナー兼彫金師「池上祐貴」氏により設立された。さまざまなカルチャーからの刺激を吸収し、“Oriental Ethnic Psychedelic”な表現を展開。手に取った人にとって、護守のような存在になる装飾品づくりを目指す。

何かが見つかる シルバーアクセ カタログ

SILVER ACCESSORY

シルバーアクセサリーの世界は百花繚乱、さまざまなクリエイターたちが自分の世界観を銀塊の姿に落とし込んでいる。だからこそ、正解のない世界……。だがしかし、そこがファッションアイテムの原点、クリエイターの感性をピシビシ感じるアンテナはこちらの自由に立てられる。だからこそ“何かが見つかる”気分がするのだ。

文/a-mag.jp 写真/a-mag.jp、鶴田智昭 (WPP)



ウィッキー リング (White-A) ¥41,800

約10年前に発表された同ブランドの名作「ラウネ」に続く、義眼を用いたアクセサリー「ウィッキー リング」。2本の角がチャームな小悪魔をモチーフとしたデザインが特徴。中央に配された“義眼”はなんと8色から選べ、さらに背景を白目・黒目から選ぶことができる。素材はシルバー925+レジン製。



STRANGE FREAK DESIGNS

ストレンジフリークデザインズ

〒シルバーギークス ☎03-6754-7589

<https://www.stfreak.com/>

デザイナー兼彫金師である「古谷尚人」氏が2000年に設立。“ダークファンタジー”という世界観をキーワードに、空想世界の生き物、それらを連想させるアクセサリーを展開している。3D立体造形ソフトや3Dプリンターも操る。